



平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年4月1日

上場会社名 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3645 URL http://www.japan-medic.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 亮
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部ゼネラルマネージャー (氏名)平川 裕司 (TEL)03(5790)5261
 四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	919	—	266	—	251	—	145	—
22年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年5月期第3四半期	34	89	29	48
22年5月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、22年5月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、22年5月期第3四半期の記載及び23年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年5月期第3四半期	1,144		996		86.9	212	11
22年5月期	598		385		64.2	48,013	67

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 994百万円 22年5月期 384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年5月期	—		0.00		—		0.00	
23年5月期	—		0.00		—		—	
23年5月期(予想)						0.00		0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,263	21.7	359	38.0	349	34.2	202	44.7	47	35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期3Q	4,689,500株	22年5月期	8,000株
② 期末自己株式数	23年5月期3Q	—株	22年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期3Q	4,174,738株	22年5月期3Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成22年7月31日付で株式1株につき500株の株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成22年5月期の1株当たり純資産は96円03銭であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の回復に伴い輸出・生産が持ち直してきており、雇用・所得環境も緩やかな改善傾向にありました。しかし、政策効果の剥落による個人消費の反動減から内需の回復が遅れるなど、景気は依然として先行きが不透明な状況にありました。

一方で、当社の主力事業であるポータルサイト運営事業においては、インターネットの日常生活への浸透や、インプラント治療の普及や歯に対する美意識・口腔衛生意識の高まりから、歯科分野における専門ポータルサイトの需要は歯科医院及びインターネットユーザーともに高まっていると認識しております。

当社は、当第3四半期累計期間においても、国内68,398の歯科診療所(平成22年12月31日現在 厚生労働省「医療施設動態調査(平成22年12月末概数)」)の無料会員の有料化を含めた新規有料会員の獲得を強化し歯科医院の囲い込みを図る一方、当社クライアント一件当たりの取引高の増加や、クライアントの多様化するニーズに総合的に応えるためのサービスの拡充に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は919,050千円、営業利益は266,735千円、経常利益は251,781千円、四半期純利益は145,666千円となりました。

なお、セグメントの業績及び概況は以下のとおりとなっております。

セグメントの名称	売上高(千円)	セグメント利益(千円)
ポータルサイト運営事業	416,461	260,008
SEM事業	394,345	150,136
その他	108,242	15,210

① ポータルサイト運営事業

ポータルサイト運営事業においては、当社ポータルサイトのデザインリニューアル等を継続的に行いながら、首都圏及び関西圏のみならず地方都市においても新規有料会員の獲得に努めました。

歯科分野においては、タイアップ型企画広告の「特集レポート」の販売による顧客単価の上昇やエントリーサービスである「歯医者さんネットPC・モバイルセットプラン」、「医院ホームページサービストリプルプラン」の販売によるクライアント数の増加に努めました。また、美容・エステ分野では、「エステ・人気ランキング」のクリスマスやバレンタインデーに合わせた「季節限定キャンペーン」や「気になる！美容整形・総合ランキング」の「クローズアップ・ドクター」の販売に注力しました。

② SEM事業

SEM事業においては、当社ポータルサイトのクライアントを中心にSEO(検索エンジン最適化)サービス及びリスティング広告出稿代理サービスの販売を行いました。また、ヤフー株式会社とGoogle Inc.の検索エンジンの提携に伴う対策等に取り組みながら、SEOサービスのエントリーサービスの販売によるクライアント数の増加に努めました。

③ その他

その他の事業においては、当社ポータルサイトのクライアントを中心に、ホームページ制作の受注が堅調に推移しました。また、新聞折込広告等の他社商材の販売代理業務にも注力しました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

	22年5月期末	23年5月期 第3四半期会計期間末	対前期増減率
総資産(千円)	598,150	1,144,035	91.3%
負債(千円)	212,257	147,578	△30.5%
純資産(千円)	385,892	996,456	158.2%
自己資本比率	64.2%	86.9%	—

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ545,885千円増加し、1,144,035千円(前事業年度末比91.3%増)となりました。

これは、主に現金及び預金の増加(前事業年度末比435,132千円増)及び売掛金の増加(前事業年度末比114,364千円増)等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ64,679千円減少し、147,578千円(前事業年度末比30.5%減)となりました。

これは、主に未払法人税等の減少(前事業年度末比22,289千円減)及び役員賞与引当金の減少(前事業年度末比21,800千円減)等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ610,564千円増加し、996,456千円(前事業年度末比158.2%増)となりました。

これは、株式上場時の公募増資等に伴う資本金及び資本準備金の増加(それぞれ前事業年度末比232,449千円増)並びに四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(前事業年度末比145,666千円増)によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べ435,132千円増加し、741,955千円(前事業年度末比141.8%増)となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は、9,008千円となりました。

これは、主に税引前四半期純利益250,803千円を計上した一方で、売上債権の増加114,364千円及び法人税等の支払額133,807千円等が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、3,299千円となりました。

これは、主に投資有価証券5,269千円の売却による収入、無形固定資産5,458千円及び投資有価証券5,150千円の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、447,441千円となりました。

これは、主に株式上場時の公募増資等に伴う株式の発行458,302千円による収入等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画どおり順調に推移しております。また、通期の業績につきましても、計画どおり推移するものと見込んでおり、平成22年12月21日公表の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は275千円、税引前四半期純利益は1,253千円減少しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	741,955	306,822
売掛金	268,191	153,826
貯蔵品	396	320
その他	60,370	39,021
貸倒引当金	△21,427	△11,736
流動資産合計	1,049,486	488,254
固定資産		
有形固定資産	5,770	6,795
無形固定資産		
ソフトウェア	49,638	59,470
その他	167	167
無形固定資産合計	49,805	59,637
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
その他	38,334	42,823
貸倒引当金	△4,360	△4,360
投資その他の資産合計	38,973	43,462
固定資産合計	94,549	109,895
資産合計	1,144,035	598,150
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,323	8,708
1年内返済予定の長期借入金	1,500	3,000
未払法人税等	51,675	73,964
賞与引当金	11,167	—
役員賞与引当金	—	21,800
その他	74,911	104,033
流動負債合計	147,578	211,507
固定負債		
長期借入金	—	750
固定負債合計	—	750
負債合計	147,578	212,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	280,324	47,875
資本剰余金	255,324	22,875
利益剰余金	459,025	313,359
株主資本合計	994,673	384,109
新株予約権	1,783	1,783
純資産合計	996,456	385,892
負債純資産合計	1,144,035	598,150

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	919,050
売上原価	384,420
売上総利益	534,629
販売費及び一般管理費	267,894
営業利益	266,735
営業外収益	
受取利息	103
投資有価証券売却益	119
その他	71
営業外収益合計	294
営業外費用	
支払利息	41
株式交付費	6,595
株式公開費用	8,611
営業外費用合計	15,247
経常利益	251,781
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	978
特別損失合計	978
税引前四半期純利益	250,803
法人税、住民税及び事業税	108,459
法人税等調整額	△3,321
法人税等合計	105,137
四半期純利益	145,666

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	317,067
売上原価	138,314
売上総利益	178,752
販売費及び一般管理費	90,415
営業利益	88,337
営業外収益	
受取利息	45
投資有価証券売却益	119
その他	5
営業外収益合計	169
営業外費用	
支払利息	9
株式交付費	2,493
株式公開費用	2,776
営業外費用合計	5,279
経常利益	83,228
税引前四半期純利益	83,228
法人税、住民税及び事業税	35,846
法人税等調整額	△996
法人税等合計	34,849
四半期純利益	48,378

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	250,803
減価償却費	15,004
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	978
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,690
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,167
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,800
受取利息及び受取配当金	△103
投資有価証券売却損益(△は益)	△119
支払利息	41
株式交付費	6,595
株式公開費用	8,611
売上債権の増減額(△は増加)	△114,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75
仕入債務の増減額(△は減少)	△385
その他	△41,310
小計	124,734
利息及び配当金の受取額	103
利息の支払額	△38
法人税等の支払額	△133,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△5,458
投資有価証券の取得による支出	△5,150
投資有価証券の売却による収入	5,269
敷金及び保証金の回収による収入	2,580
その他	△540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△2,250
株式の発行による収入	458,302
株式公開費用の支出	△8,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	447,441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	435,132
現金及び現金同等物の期首残高	306,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	741,955

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に提供するサービス内容や経済的特徴を基礎としたサービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱うサービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社はサービス別の事業部門を基礎とし、経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを集約した「ポータルサイト運営事業」及び「SEM事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ポータルサイト運営事業」は、「からだ」・「健康」・「美」に特化した情報を提供する専門ポータルサイトを運営しております。また、「SEM事業」は、SEOサービス及びリスティング広告出稿代理サービスを提供しております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	416,461	394,345	810,807	108,242	919,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	416,461	394,345	810,807	108,242	919,050
セグメント利益	260,008	150,136	410,145	15,210	425,355

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業及び販売代理事業等を含んでおります。

当第3四半期会計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	S E M事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,768	138,613	279,381	37,686	317,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	140,768	138,613	279,381	37,686	317,067
セグメント利益	89,629	49,997	139,627	3,329	142,957

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業及び販売代理事業等を含んでおります。

③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	410,145
「その他」の区分の利益	15,210
全社費用(注)	△158,620
四半期損益計算書の営業利益	266,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期会計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,627
「その他」の区分の利益	3,329
全社費用(注)	△54,619
四半期損益計算書の営業利益	88,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年12月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場し、上場に当たり、平成22年12月20日に公募増資による払い込みを受け、資本金が231,840千円、資本準備金が231,840千円増加しております。また、新株予約権の行使により、資本金が609千円、資本準備金が609千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が280,324千円、資本準備金が255,324千円となっております。